

## 業績のハイライト

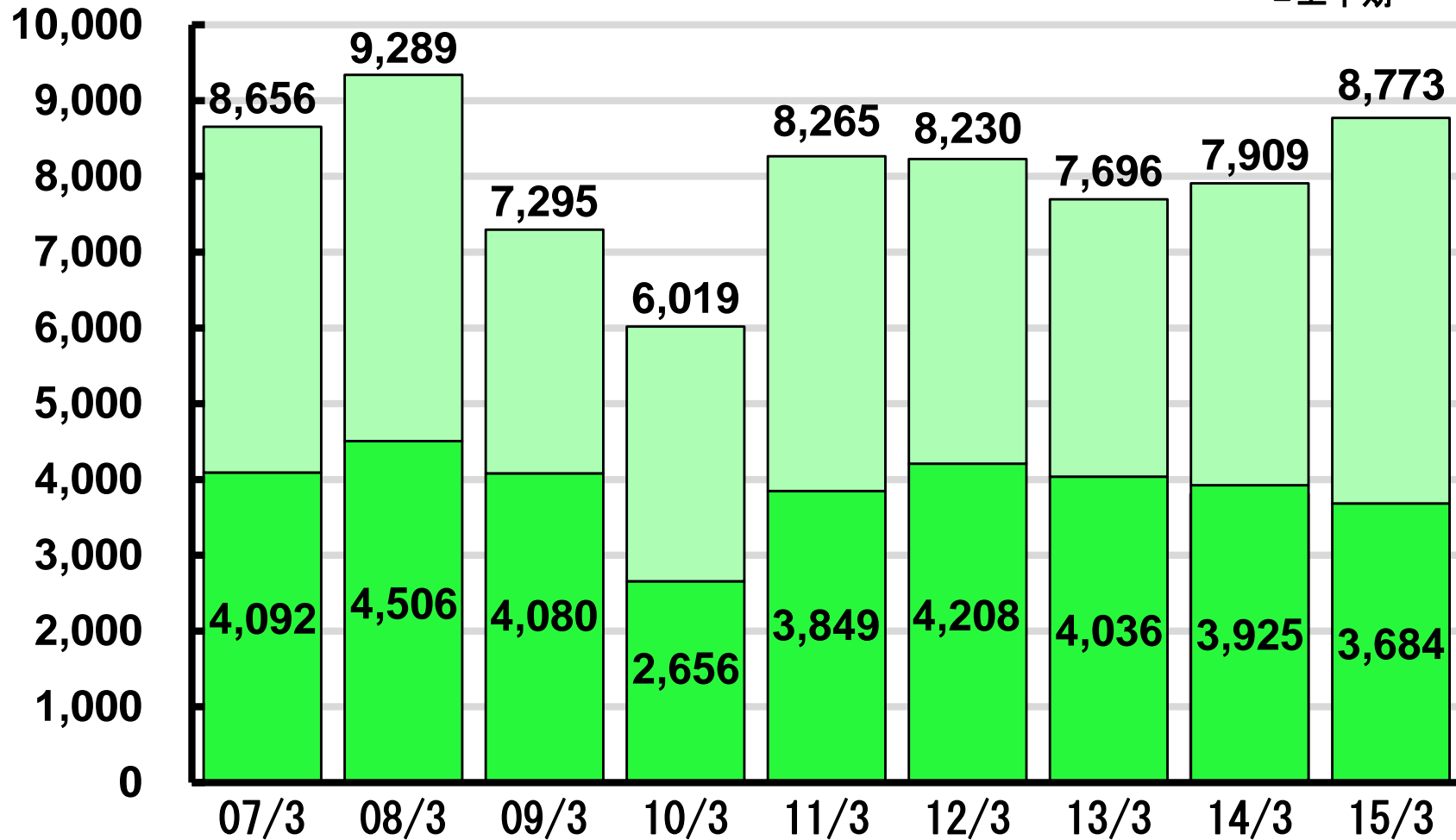
(単位：千円)

	2015年3月期(単体)			2014年3月期(単体)	
	実額	前期比増減	構成比	実額	構成比
売上高	8,773,139	10.9%		7,908,956	
セラミックス部門	5,831,134	4.7%	66.5%	5,570,325	70.4%
耐摩耗セラミックス	3,355,535	0.4%	38.2%	3,341,564	42.3%
耐熱セラミックス	1,905,822	14.7%	21.7%	1,662,093	21.0%
機能性セラミックス	344,973	5.6%	4.0%	326,744	4.1%
理化学用陶磁器・その他	224,803	△6.3%	2.6%	239,923	3.0%
エンジニアリング部門	2,942,004	25.8%	33.5%	2,338,630	29.6%
加熱装置	979,233	45.9%	11.1%	671,187	8.5%
計測機器・その他	1,962,771	17.7%	22.4%	1,667,442	21.1%
売上原価	7,159,489	12.4%		6,371,791	
販売費および一般管理費	1,172,952	△1.5%		1,190,504	
営業利益	440,697	27.1%		346,660	
経常利益	468,080	43.2%		326,777	
当期純利益	285,064	48.9%		191,502	
研究開発費	198,186			205,987	

## 売上高

(百万円)

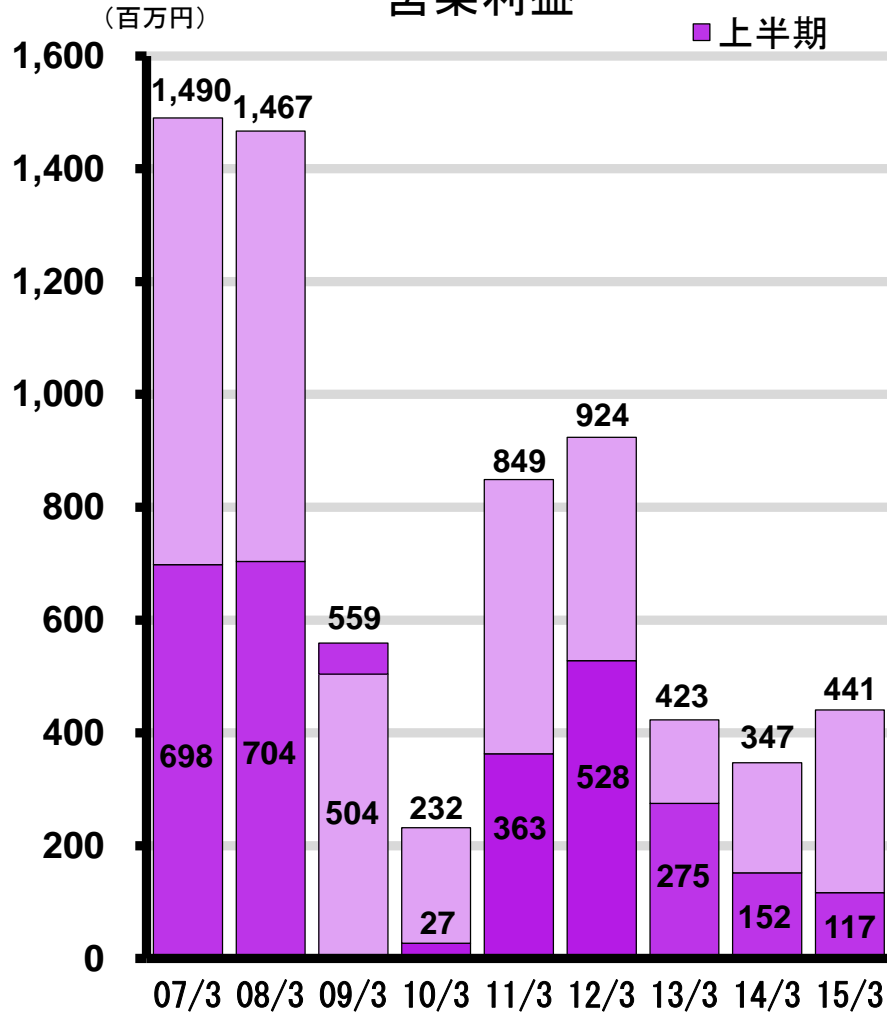
□ 下半期  
■ 上半期



2008年3月期以前は単体、2009年3月～2012年3月期は連結、2013年3月期以降は単体による実績で表示しています。

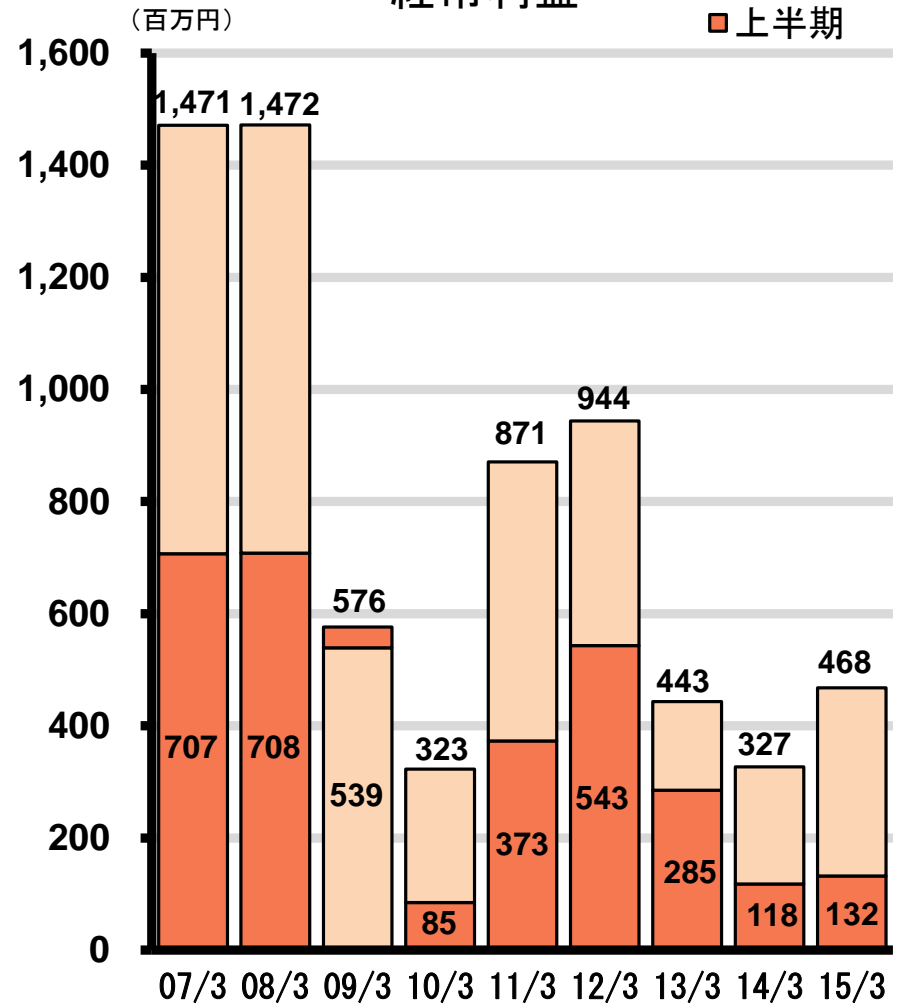
### 営業利益

■ 下半期  
■ 上半期

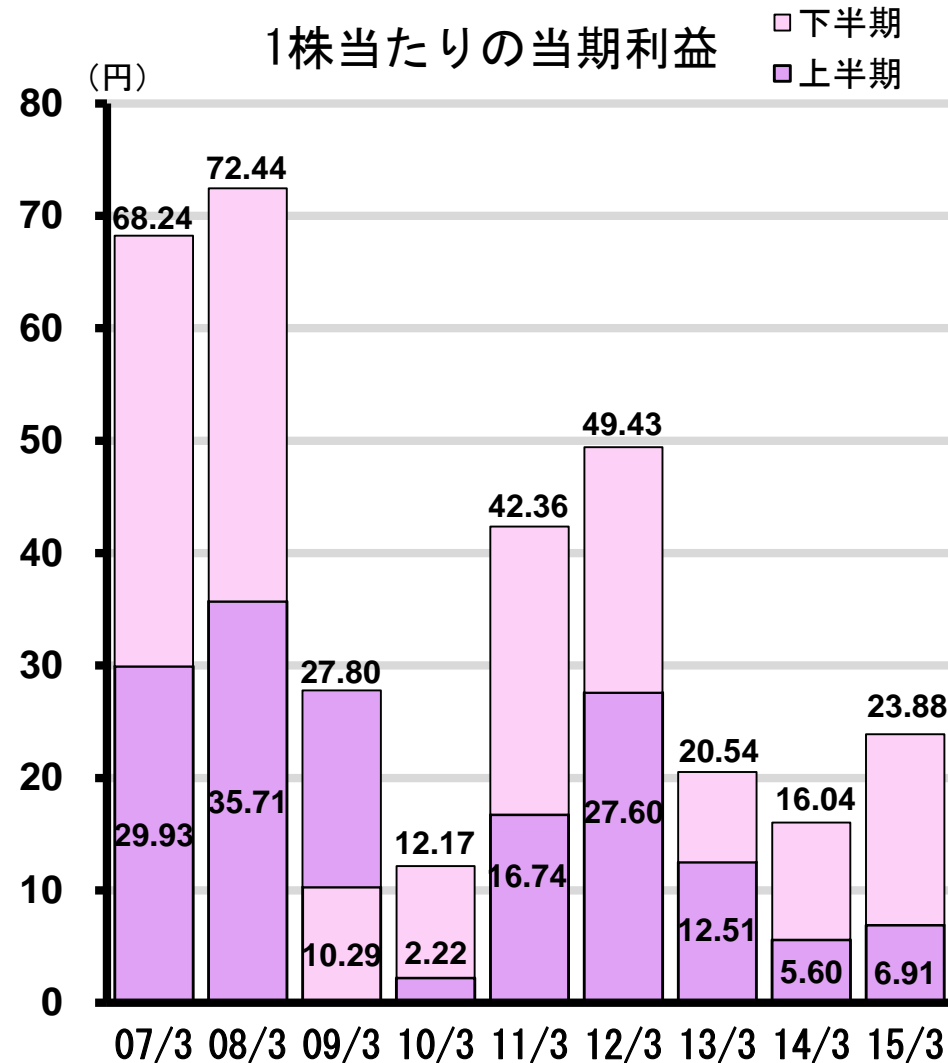
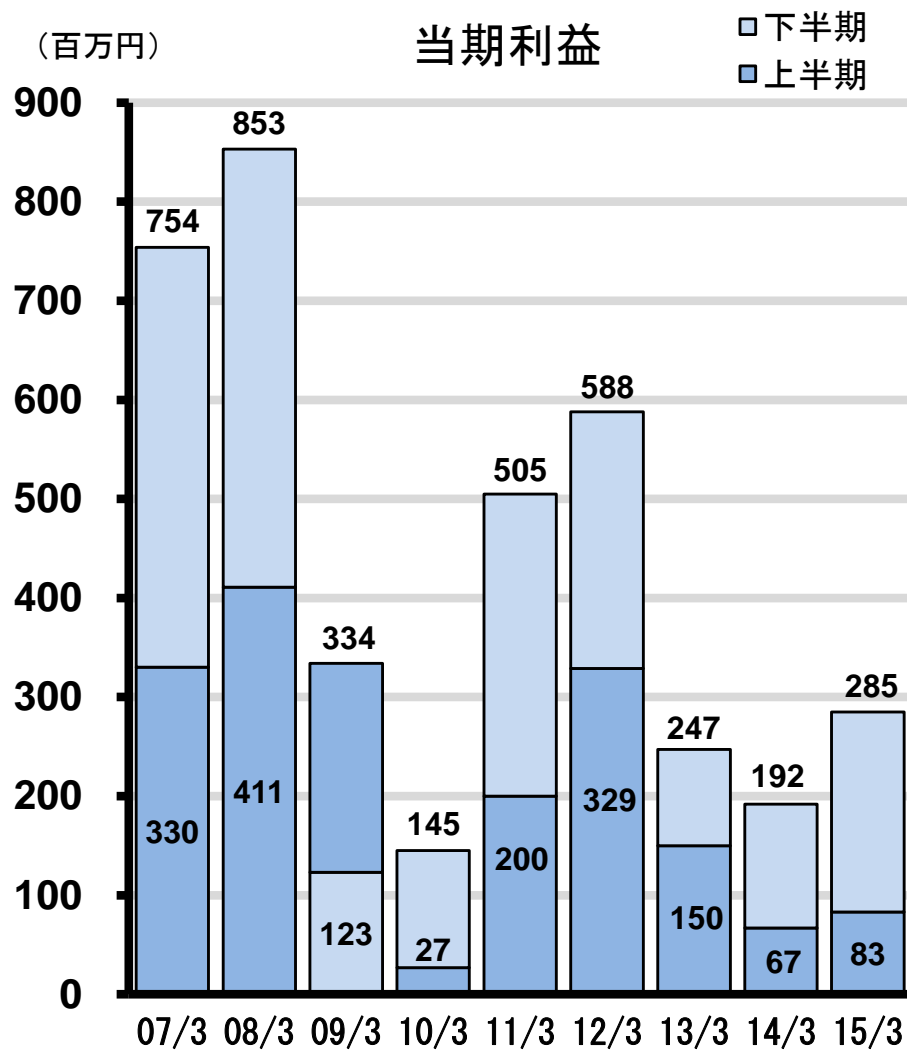


### 経常利益

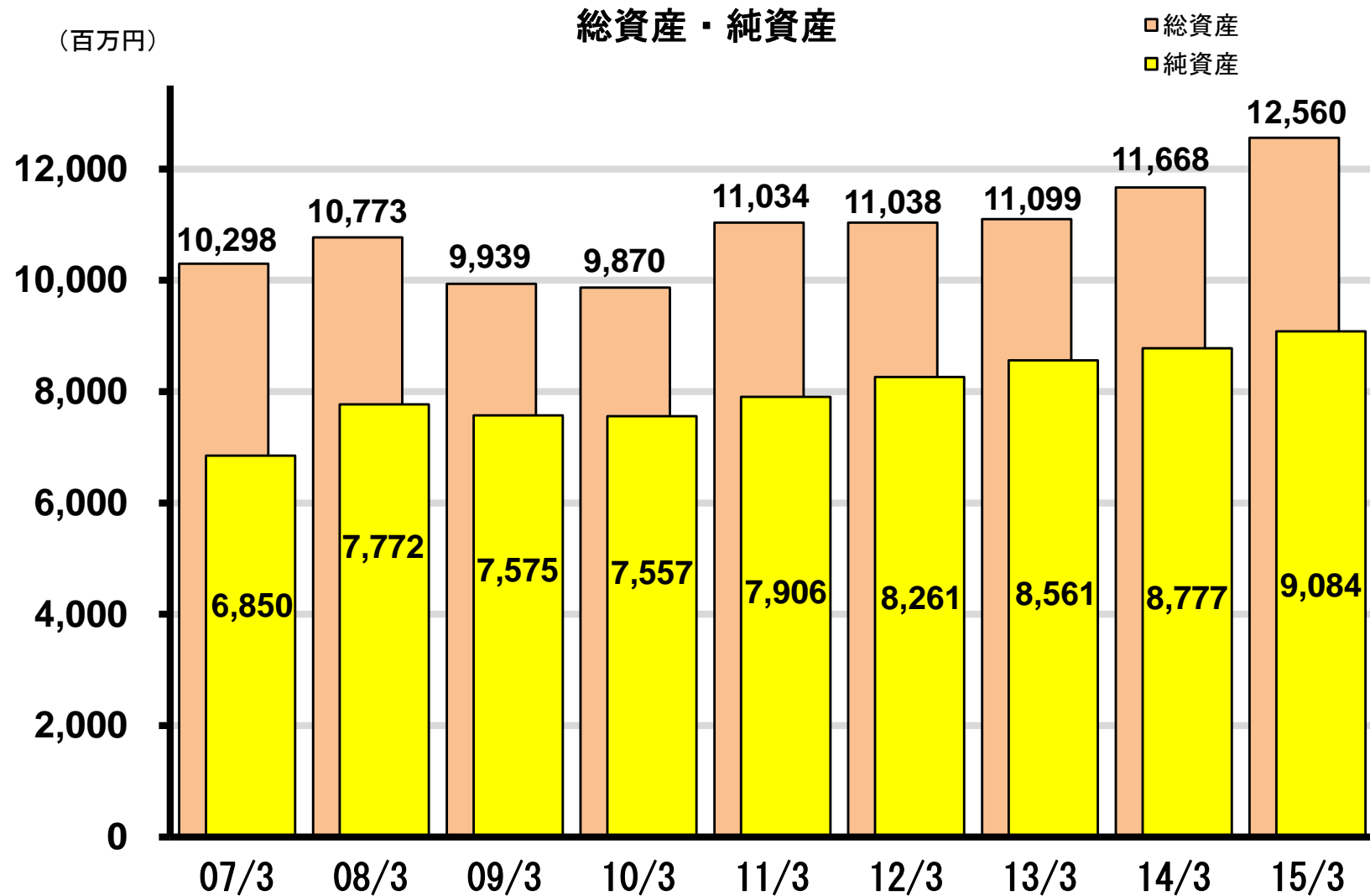
□ 下半期  
■ 上半期



2008年3月期以前は単体、2009年3月～2012年3月期は連結、2013年3月期以降は単体による実績で表示しています。

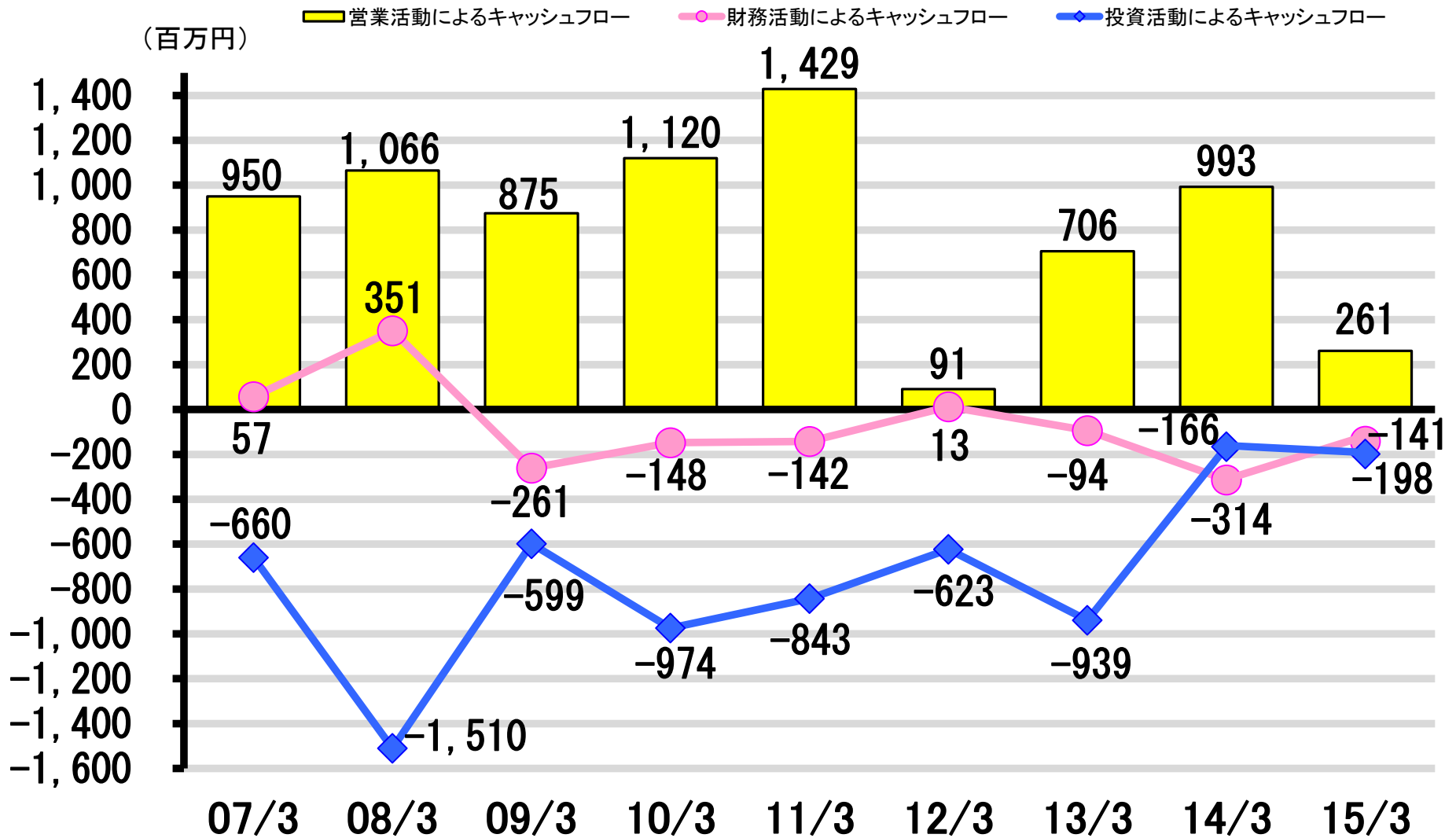


2008年3月期以前は単体、2009年3月～2012年3月期は連結、2013年3月期以降は単体による実績で表示しています。



2008年3月期以前は単体、2009年3月～2012年3月期は連結、2013年3月期以降は単体による実績で表示しています。

# キャッシュフロー

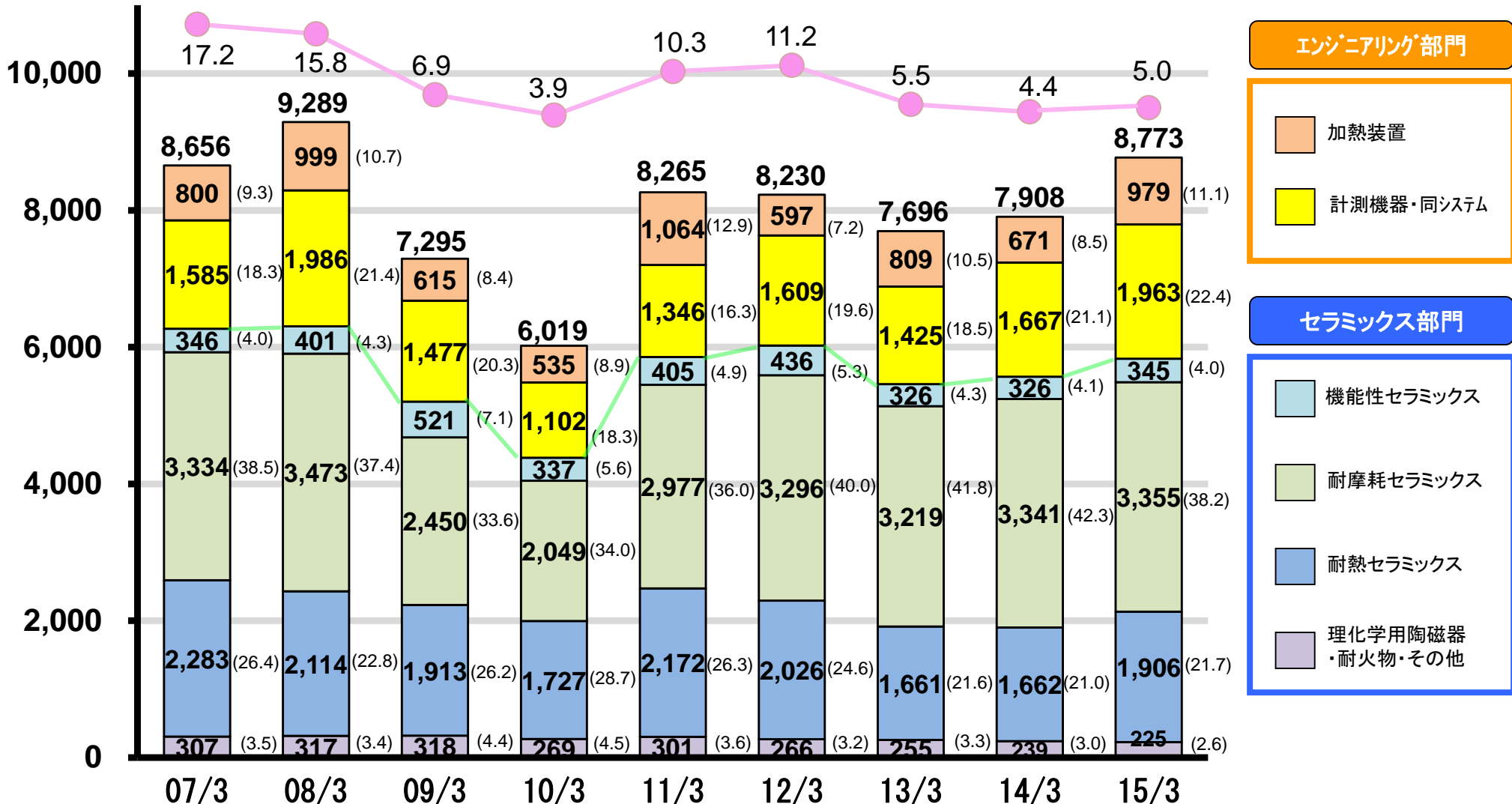


2008年3月期以前は単体、2009年3月～2012年3月期は連結、2013年3月期以降は単体による実績で表示しています。

## 部門・用途別売上高構成比の推移

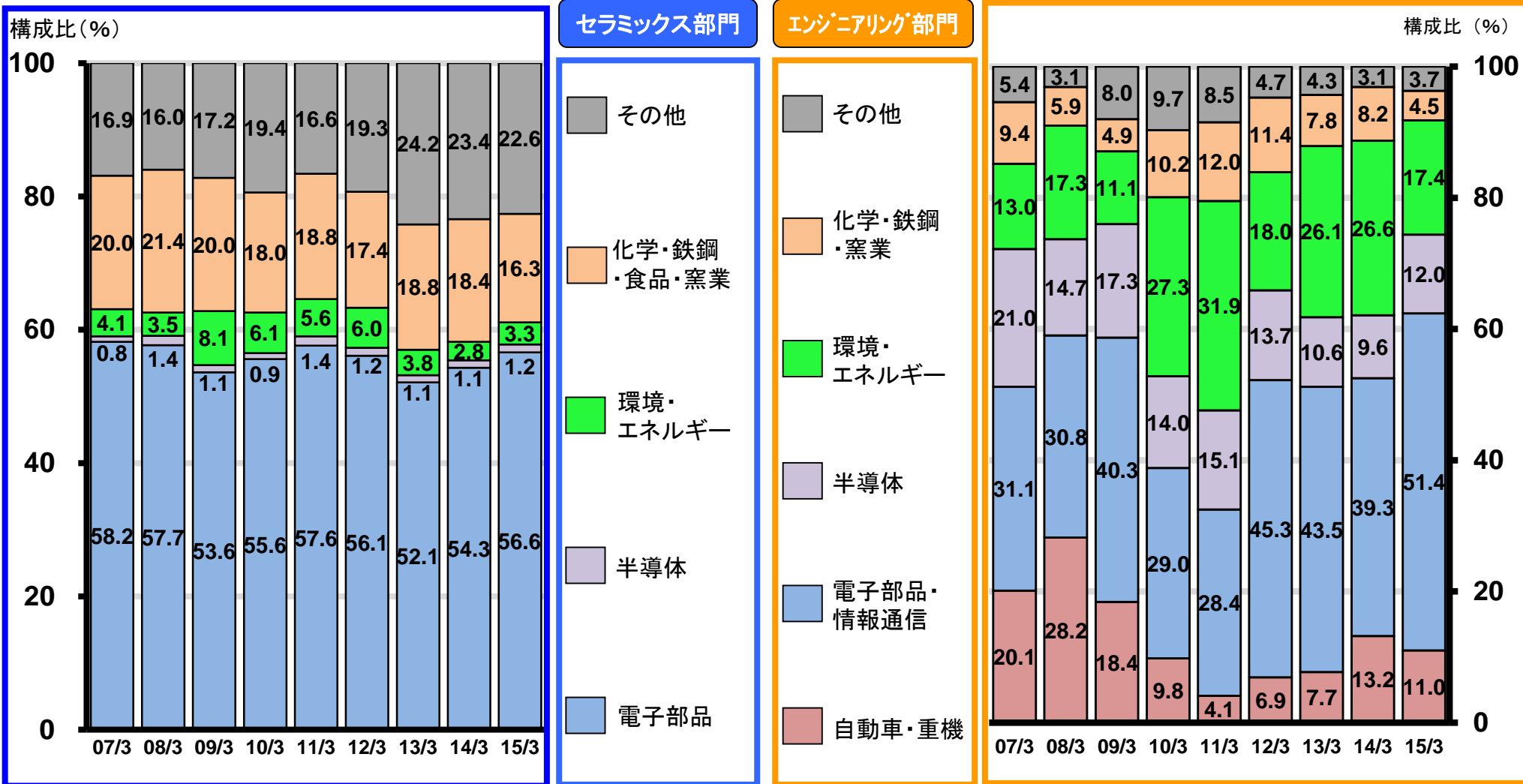
(百万円)

売上高営業利益率



2008年3月期以前は単体、2009年3月～2012年3月期は連結、2013年3月期以降は単体による実績で表示しています。

### 当社製品・商品の部門別販売マーケット別構成比の推移



2008年3月期以前は単体、2009年3月～2012年3月期は連結、2013年3月期以降は単体による実績で表示しています。



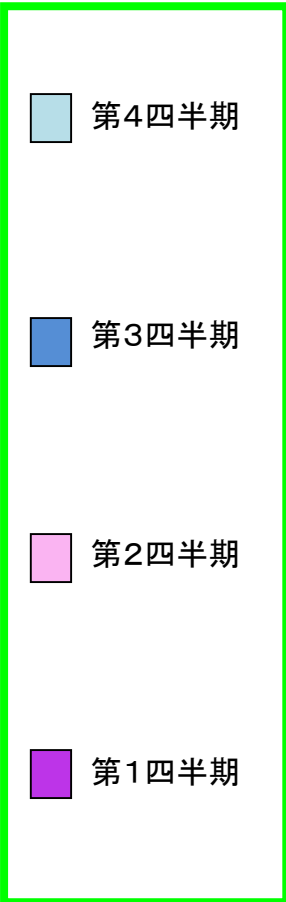
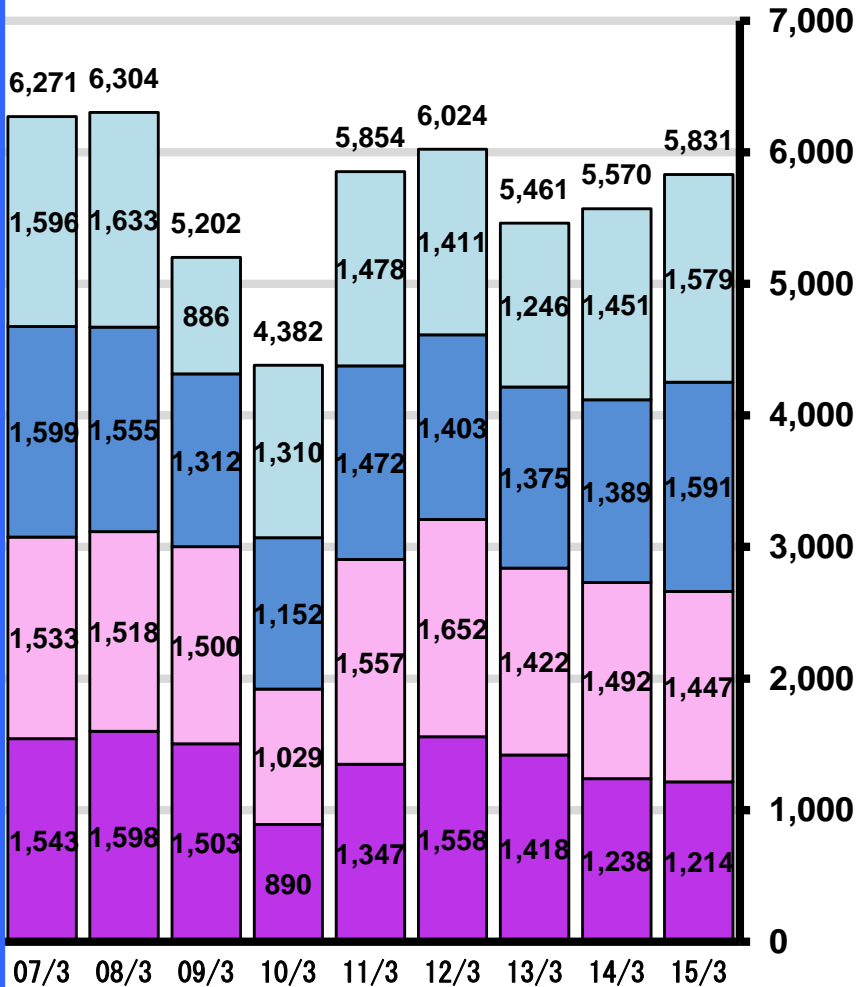
セラミックス部門

四半期単位売上高の推移(単体)

エンジニアリング部門

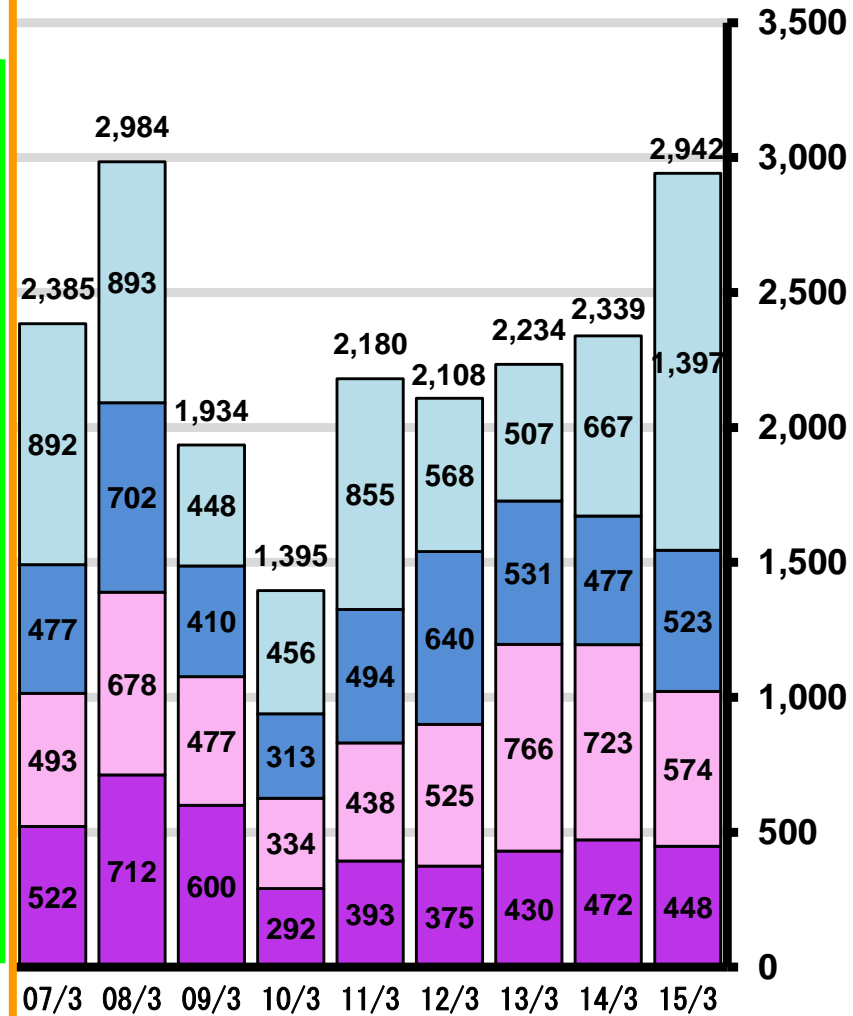
売上高

(百万円)



売上高

(百万円)



## 比較経営指標

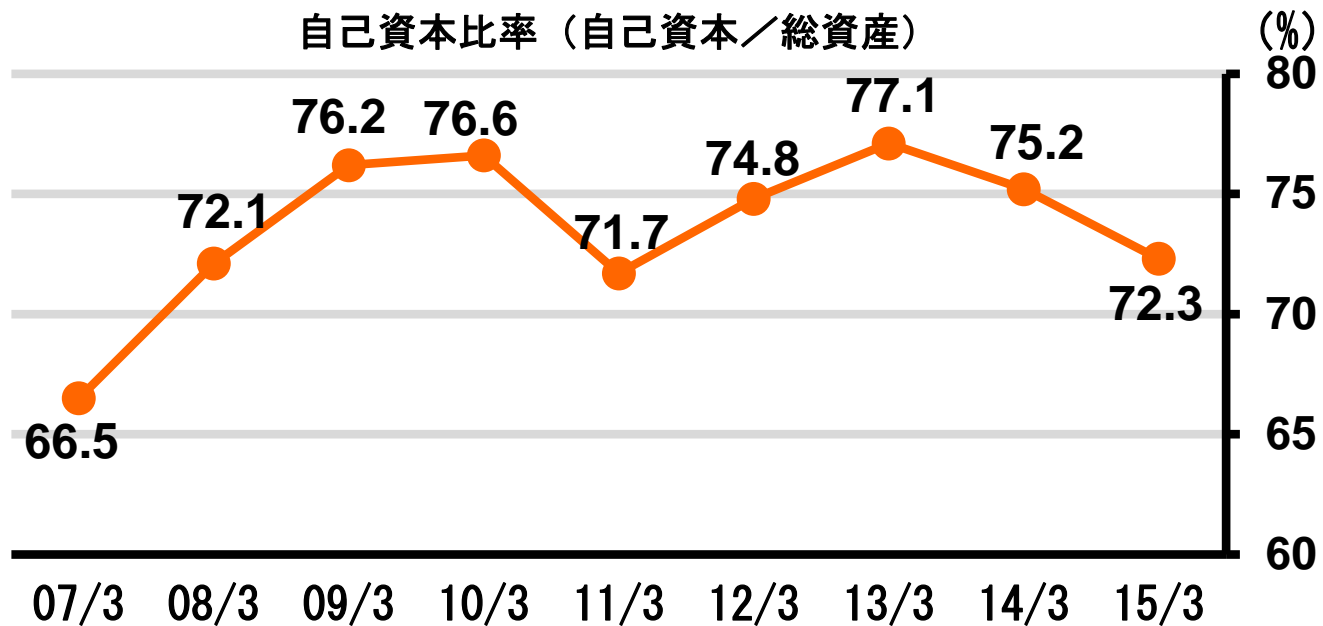
	単位	15年3月期	14年3月期	13年3月期	12年3月期	11年3月期	10年3月期	09年3月期
売上高原価率	%	81.6	80.6	79.6	74.4	74.4	78.0	74.4
売上高販売管理費率	%	13.4	15.1	14.9	14.4	15.4	18.1	18.6
売上高営業利益率	%	5.0	4.4	5.5	11.2	10.3	3.9	6.9
売上高経常利益率	%	5.3	4.1	5.8	11.5	10.5	5.4	7.4
自己資本比率	%	72.3	75.2	77.1	74.8	71.6	76.6	76.2
自己資本当期純利益率(ROE)	%	3.2	2.2	2.9	7.3	6.5	1.9	1.6
総資産経常利益率	%	3.9	2.9	4.0	8.6	8.3	3.3	5.4
総資産当期純利益率	%	2.4	1.7	2.2	5.3	4.8	1.5	1.2
総資産回転率		0.72	0.69	0.70	0.75	0.79	0.61	0.70
1株当たり当期純利益	円	23.88	16.04	20.54	49.43	42.36	12.17	10.29
配当性向	%	41.9	74.8	58.4	28.3	28.3	82.2	194.4
純資産配当率(DOE)	%	1.3	1.7	1.7	2.1	1.9	1.6	3.1

2008年3月期以前は単体、2009年3月～2012年3月期は連結、2013年3月期以降は単体での指標です。

### 純資産配当率

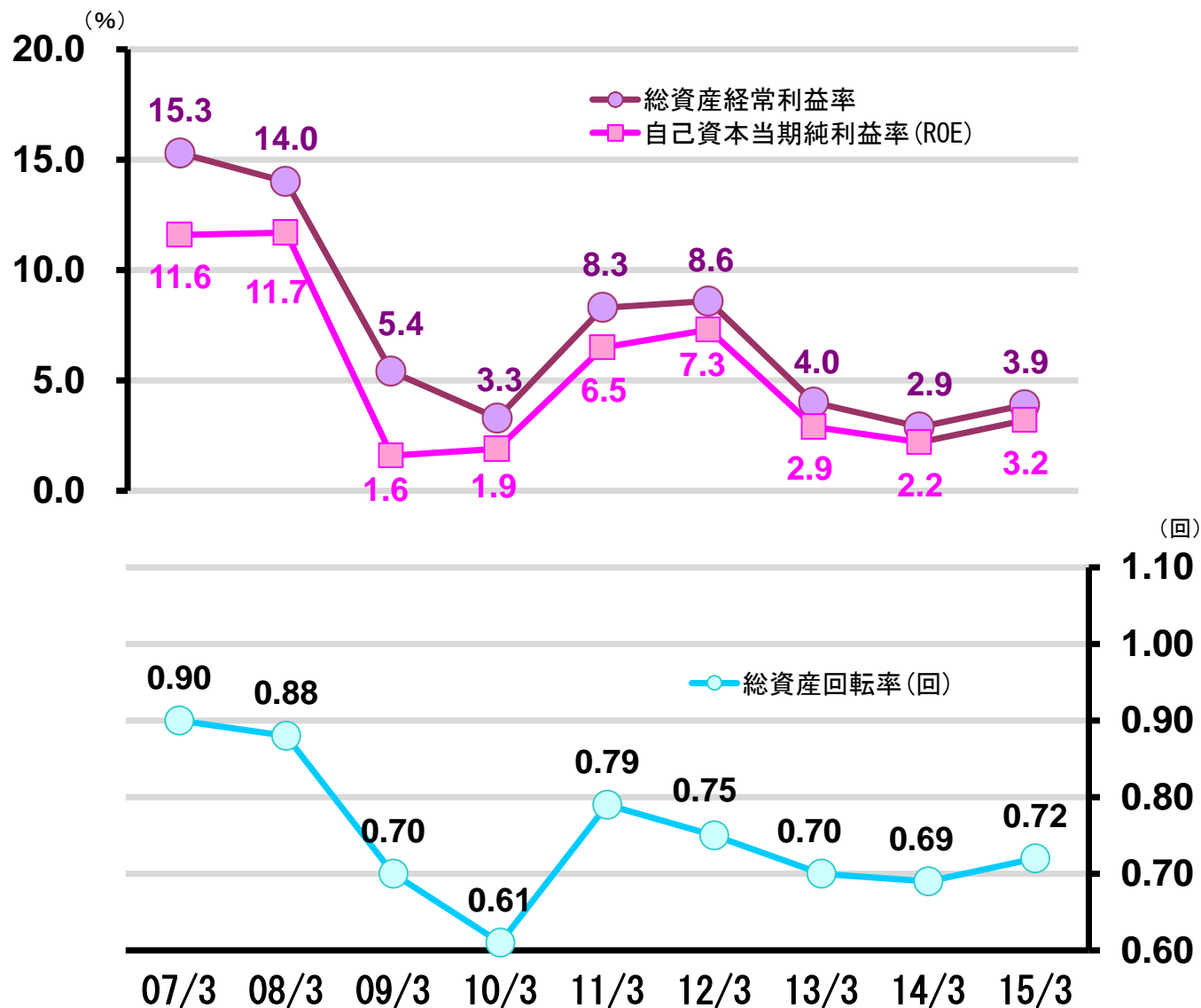


### 自己資本比率 (自己資本／総資産)



2008年3月期以前は単体、2009年3月～2012年3月期は連結、2013年3月期以降は単体による実績で表示しています。

自己資本当期純利益率、総資産経常利益率と総資産回転率(回)



2008年3月期以前は単体、2009年3月～2012年3月期は連結、2013年3月期以降は単体での指標です。

# YTZ<sup>®</sup>ボール

## コンデンサ用誘電体材料の粉碎に利用され成長を牽引

### YTZ<sup>®</sup>ボールとは？

- 名古屋工業試験所(現在の産業技術総合研究所)との共同研究で当社が開発した強くてしなやかなファイン・セラミックスである「ジルコニア」を用いて開発
- 耐摩耗性、耐久性に優れ、粉碎・分散効率が高く、電子部品材料、高機能材料の粉碎・分散に適している
- 水系による粉碎も行えるため、環境への負荷も少なく、また長寿命のためコストの削減、廃棄物の低減に寄与



極小YTZ<sup>®</sup>ボール拡大写真  
直径 0.03~25mm

### コンデンサへの利用で成長

- コンデンサがより薄くなり、積層数が増大するにつれて、コンデンサ用の誘電体材料を極小に均一に分散する必要性が高まり、YTZ<sup>®</sup>ボールが利用されている
- 粉碎するための部材にも採用が拡大

村田製作所、TDK、太陽誘電、京セラを始め、  
ほぼ全てのコンデンサメーカーで利用され、当社の成長を牽引

## 耐熱セラミックスの分野別用途

### 1. 焼成用容器・セッター

#### 特徴

1. 耐熱性、耐食性に優れ、高温での強度が高い
2. 化学薬品・溶融金属に対して安定で高温における耐食性が優れている
3. 高温での酸化・還元雰囲気の中でも極めて安定している

#### 主な用途

1. リチウムイオン電池正極材料の熱処理
2. 圧電体・誘電体などの電子部品材料の熱処理
3. 蛍光体材料の熱処理
4. NaS電池材料の熱処理



## 2. セラミックスチューブ

☆半導体拡散炉用を除き市場の80%以上の占有率をもつ。  
 ☆主な材質は、ムライト系6種類、アルミナ系2種類を生産。  
 ☆サイズ 直径： $\phi 1\text{mm} \sim \phi 250\text{mm}$  長さ： $\sim 3500\text{mm}$

### 主な用途

#### 1) 加熱装置用搬送ローラ

##### a) 精密・高温用

- ・電子部品向け加熱装置(セラミックコンデンサ、  
圧電体、抵抗体、磁性体ほか)
- ・セラミック基板、パッケージ生産用
- ・液晶ガラス基板の熱処理
- ・自動車用点火プラグの生産用
- ・蛍光体、顔料の合成用

##### b) 建材用 タイル、衛生陶器、瓦の生産用

##### c) 陶磁器用 食器、花瓶ほか



#### 2) 炉心管(大口径)

##### a) 単結晶育成用(光通信用部材、SAWフィルタ基板、 磁気ヘッドなど)

##### b) 半導体生産用拡散炉(大半はSiC製であるが、 一部当社ムライト製)

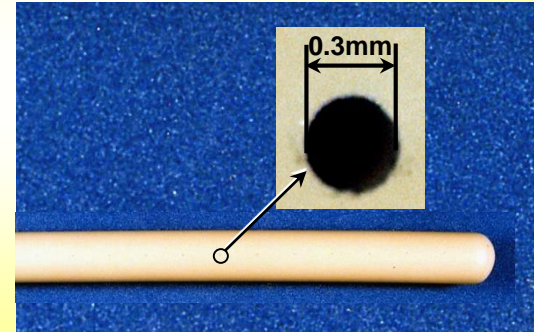
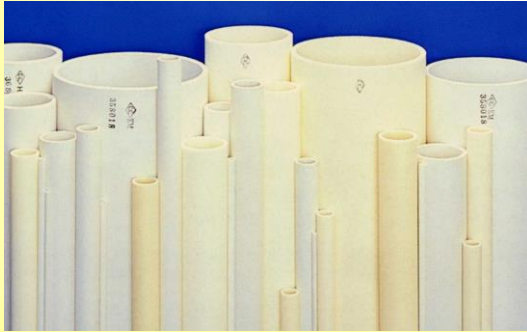
##### c) 粉体合成炉(ロータリーキルン、管状電気炉)

##### d) 管状雰囲気炉、廃棄物減容炉



### 3) 保護・ガス導入用

- a) サポートチューブ、ラジアントチューブ
- b) ガス吹込み管、ガス採取管 ほか



### 4) 温度測定用 温度センサの熱電対保護管、電気絶縁管

